

2020年11月12日

連合三田会の皆様

慶應連合三田会
会長 菅沼安嬉子

拝啓

秋も深まってまいりました。皆様お変わりなくお過ごしのことと拝察申し上げます。

本日は新型コロナウイルス感染防止のお願いです。昨日、日本各地で新型コロナウイルス感染者が過去最大との報道が相次ぎました。日本医師会会長も第3波の到来と考えられるとの声明を出しました。

新型コロナウイルスと共生して経済を回しながら暮らすとのことで、Go To トラベル、Go To イートが始まり、私たちも何となく大丈夫なのかとの気のゆるみも出てきています。

3月、4月の時点ではウイルスに関する情報がわからず、政府、医療機関も含めて日本中がパニックになりました。その後6か月でウイルスの感染経路や、重症化のメカニズム、様々な薬の中からウイルスに効きそうな薬も選択され、重症者が死に至るのを防ぐ対策もかなりわかってきています。しかし感染者が増えて医療機関で手厚い医療が受けられなかったら、死者は増えてしまいます。今まで日本各地での死亡者は一日一桁でしたが、昨日はとうとう二桁になりました。重症者も増えています。

日本は世界と比べて比較的感染者が少ないほうですが、それは日本人がしっかりマスクをつけ一人一人が感染予防に気を付けているからに他なりません。新型コロナウイルスは弱体化したわけではないのは、世界各地の死者数を見ればわかります。

これから12月にかけて、忘年会やクリスマスの時期です。今年は例年のように集まり楽しく過ごすことはできません。しかし工夫を凝らせば皆様に会うことはできます。

一番安全なのはオンライン会。先日も連合三田会は、来年度の大会実行委員の中で卒業10年目の委員に大会のオリエンテーションを兼ねたオンライン懇親会を開きました。

110名以上が参加して、来年度の新浪大会実行委員長の乾杯でそれぞれビールなど飲みながら楽しい会になりました。

次は少人数でソーシャルディスタンスを取り、対面でなく座り食事中は会話なし、食後にマスクをつけてお話をすること。危険なのは立食です。食事をしながら話しウイルスを撒き散らします。

三田会がクラスターになったとの報道が出ませんようにぜひ気を付けてください。そして会を開くときは感染防止を工夫しながら行ってください。ワクチンの明るいニュースもありますが、実際に日本に入るとしても来年の6月以降になるとのことです。油断なくお過ごしくださるようお願い申し上げます。

敬具